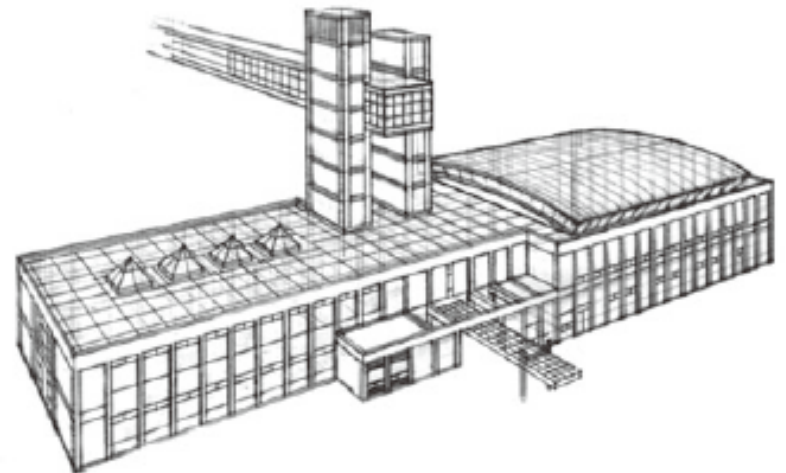
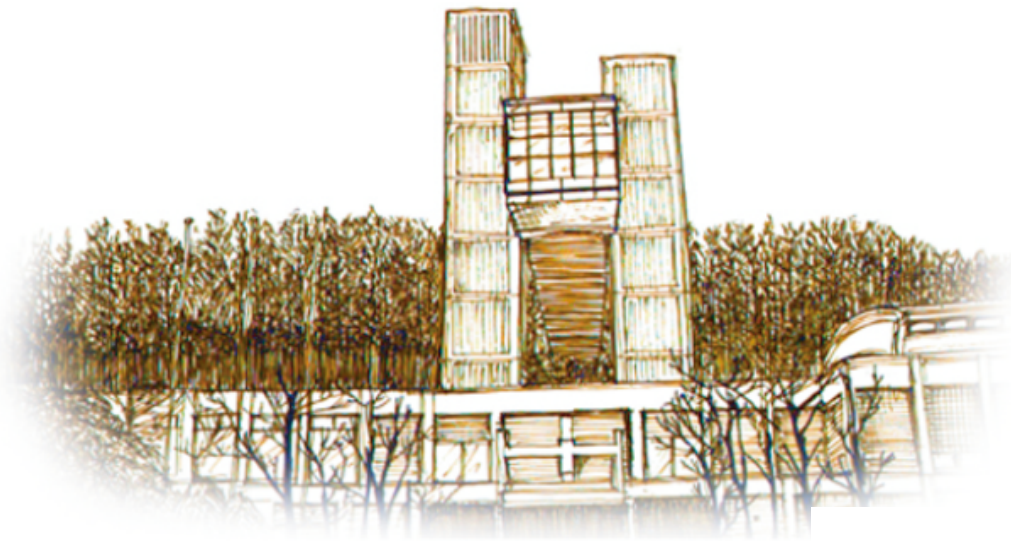


SCU CAMPUS CAFE の提案

0818011

Azusa NARITA



■スカイウェイ先端のラウンジ（約 26 平米）を計画地とした、仮設カフェの提案である。ここは多くの人間が毎日通り過ぎるだけで、立ち止まることが意外と少ない。そこで、カフェという用途を加えて空間を有効に利用することを考える。

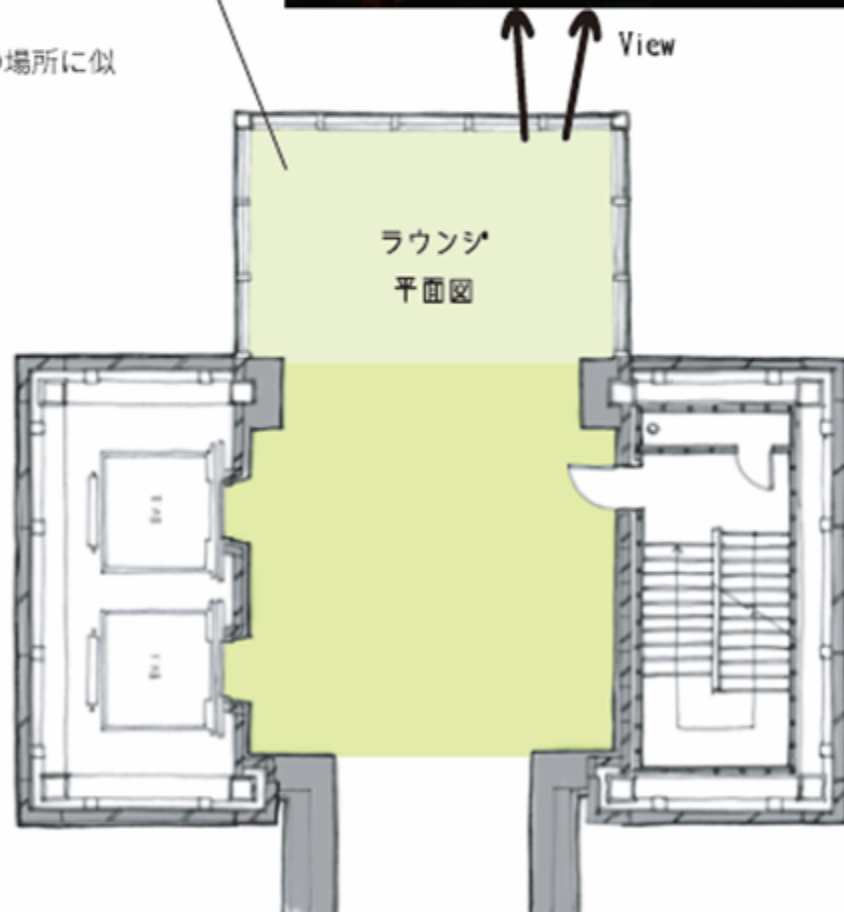
■恒久的な存在ではないため、ある日突然現れ、突然消えるという驚きを人々に与える。普段との変化を感じてもらうことで、カフェ自体がスカイウェイの環境要素となることを目指す。

■現地を調査してわかった学生の声や環境要素を基に、この場所に似合うカフェのあり方とは。



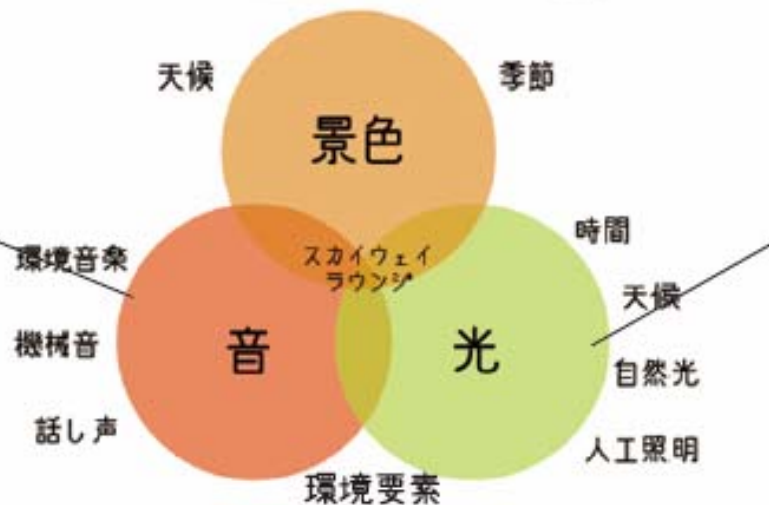
※ 現地スカイウェイ先端にはソファが置いてあります。

■上記のような声が調査中に聞こえてきた。問題点としては、寒さの軽減、視覚の制限（意図的に遮蔽する）などが考えられる。



■左記の表は、現地で一時間近くにならって、一分ごとにどのような音がしたかを記録したものである。

- EV+ヒト……エレベーター利用**39回**
- EV………無人エレベーター**10回**
- 鳥………鳥の鳴き声**1回**
- 虫………虫が飛ぶ音**常時**



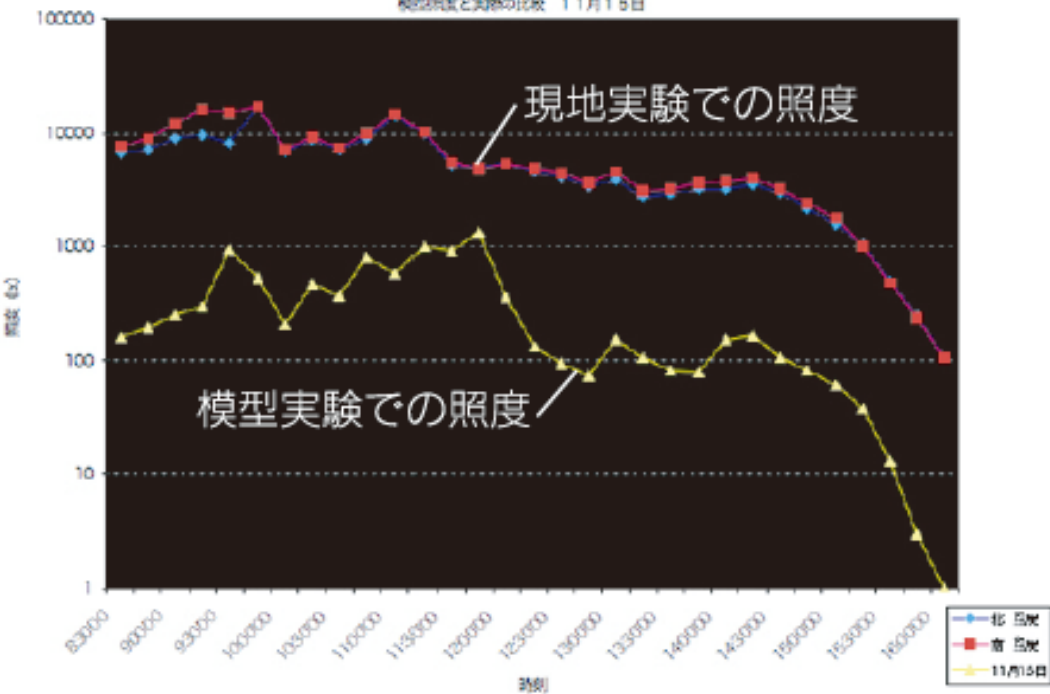
時間	EV	人	鳥	虫
13:30				・
13:31				・
13:32				・
13:33				・
13:34				・
13:35	●	○		・
13:36	●	○		・
13:37				・
13:38				・
13:39				・
13:40				・
13:41	●	○		・
13:42	●	○		・
13:43				・
13:44	●	○		・
13:45	●			・
13:46				・
13:47	●	○		・
13:48				・
13:49	●	○		・
13:50				・
13:51				・
13:52				・
13:53	●	○		・
13:54	●	○		・
13:55	●			・
13:56	●	○		・
13:57				・
13:58	●	○		・
13:59				・
14:00	●			・
14:01				・
14:02	●			・
14:03				・
14:04	●	○		・
14:05				・
14:06	●	○		・
14:07	●	○		・
14:08	●			・
14:09				・
14:10				・
14:11			△	・
14:12				・
14:13				・
14:14	●	○		・
14:15				・
14:16				・
14:17				・
14:18				・
14:19	●	○		・
14:20	●	○		・
14:21	●			・
14:22				・
14:23	●	○		・
14:24	●	○		・
14:25	●			・
14:26				・
14:27	●	○		・
14:28	●			・
14:29	●	○		・
14:30	●	○		・

模型を使った照度実験 S=1:50



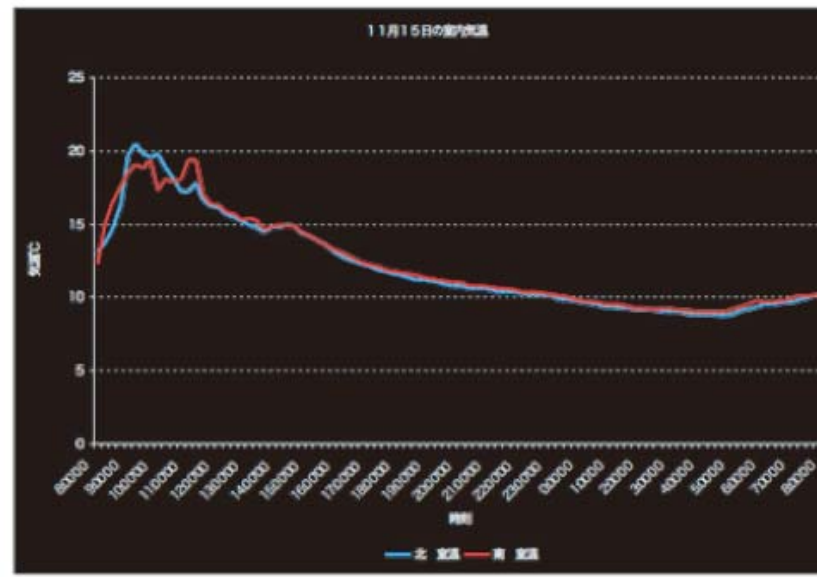
模型を学校と同じ方角で置き、中に照度計を入れ、室内で計測した。

模型照度と実際の比較 11月15日



■環境要素の「光」を数値化するため、模型と現地でそれぞれ計測実験を行い、比較したグラフを作成した。模型実験でも、実物に劣らないレベルの記録が可能だった。

■グラフ2は、24時間の温度変化のグラフである。日照があれば、11月でも20℃超、最低は午前5時の8℃。

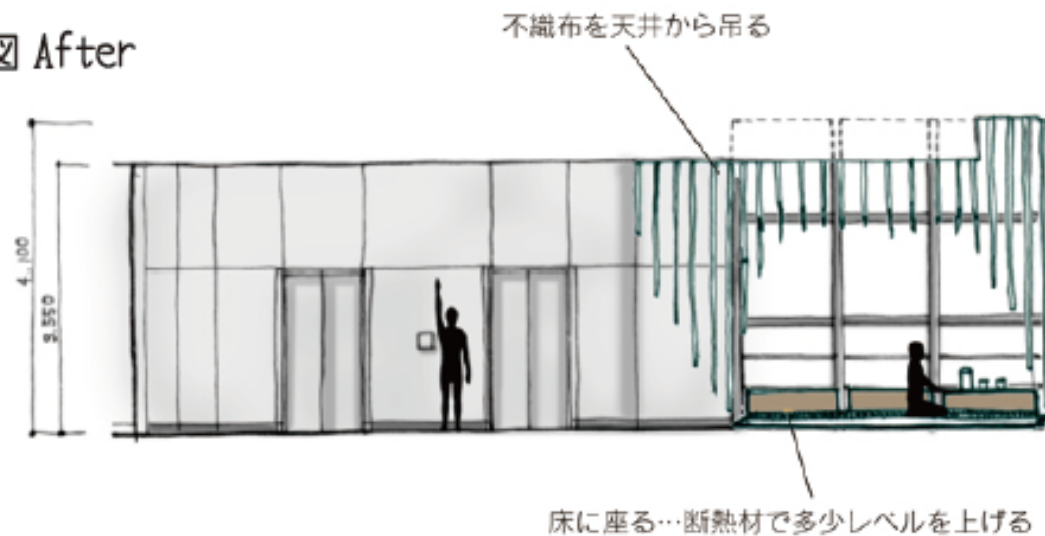


断面図 Before

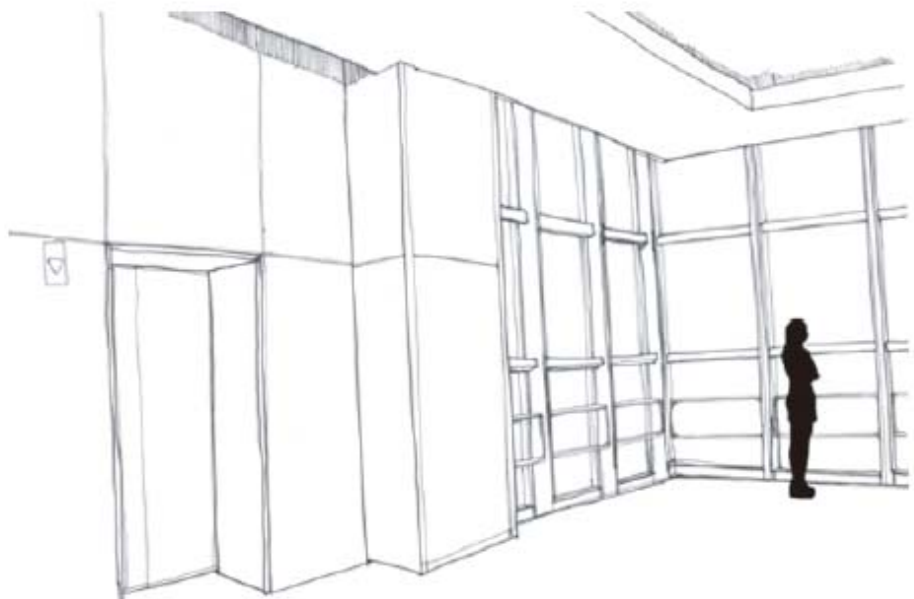


○寒い風を遮り、まぶしい直射光を和らげるための、カーテンを取り付ける。

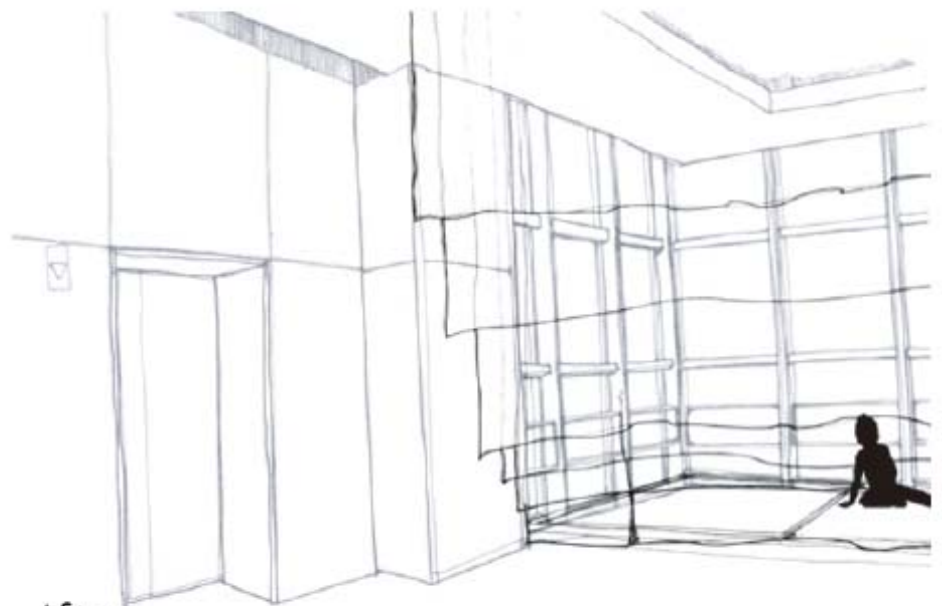
断面図 After



不織布…織らずに、繊維を固めてつくられる布。安価で扱いやすいのが特徴。
何枚も重ねると光の透過量が変わる。



Before



After



■床に座ることで、いつもの視点より下がった位置で景色を見るようになっている。

■そこに行けばすぐにお茶が飲めるように整えてあり、すべてセルフサービスである。不織布のカーテンと温かい飲み物があれば、多少の寒さは気にせずに過ごすことができる。入れる人数は少ないので、譲り合ってこの環境を楽しんでほしい。

